平成28年11月23日（水）　伊豆新聞（1面）

が期待され、伊豆急ホールスが栽培を進ープに着目。労を得て料理せた。ニューは、▽とブラックオピラフ▽鶏肉ブオイルマリジャガイモのンサラダ▽野ぶりスープ▽ミチミツオリー。スープ以外リーブオイル脂質制限のな患者約150人

げされた新鮮なサバをすり身にしたいと漁協の「サバ男くん」は既に病院食として使用

放題」イベントを行う。規定の袋に詰められるだけ詰めたシイタケを300円で販売する。

伊東のＰＲ動画の制作に挑戦する参加者＝伊東商工会議所

外国人向けＰＲ動画制作

商議所が講習会

伊東商工会議所はこのほど、「外国人向けのPR動画作り」の講習会を伊東市銀座元町の同商議所で開いた。日本映像翻訳アカデミー（JVTA）のスタッフ5人が、動画を自分で制作して発信する方法を指導した。

はじめにJVTAチーフディレクターの石井清猛さんらが動画の持つPR力を説明した。石井さんは「1分間の動画が伝える情報量は、3600のウェブページに匹敵する」などとその効果を強調した。

続いて参加者がタブレット端末を使って外国人向けの伊東のPR動画作りに挑戦した。JVTAが用意した市内の映像や写真を組み合わせ、英語テロップを添えた。

参加した飲食店経営者や土産物店主ら8人は今後の商売や地域活性化に役立てようと、熱心に取り組んだ。参加者からは「動画の効果がよく分かった」「さっそく自分の店のPR動画をアップしてみたい」などの声が聞かれた。

洋菓子並ぶ

お役所に展示、PR

とを使い、着衣論。事件後に動かした金は、血まみれで店に座っていた2人を発見し、金を持っていると犯人と疑われると思い、転職先の上司から借りた金や持っていた貯金箱の小銭などを使ったと説明。着衣などの付着物のDNA型は、清水さんらに由来しない型があると主張した。

裁判は10月21日に結審し、約1カ月を経て判決を迎える。初公判から判決公判までの実審理期間66日間は、裁判員裁判が始まって以来県内では最長となった。

展示コーナーでは、ツバキ（2月）、金魚（7月）、モミジ（10月）、サンタクロース（12月）など月ごとの上生菓子や季節の行事に欠かせない和洋菓子を紹介。まんじゅう、ようかん、菓子パンなど加盟店の主力商品も並べた。

菓子まつりの開催時間は午前10時～午後2時。問い合わせは伊東商工会議所（電0557（37）2500）へ。

テント・シート専門店
スパンカ
トラック幌・シート
店舗・住宅日除け
椅子張り…etc
町田テント
0557
37-3983

潮の響